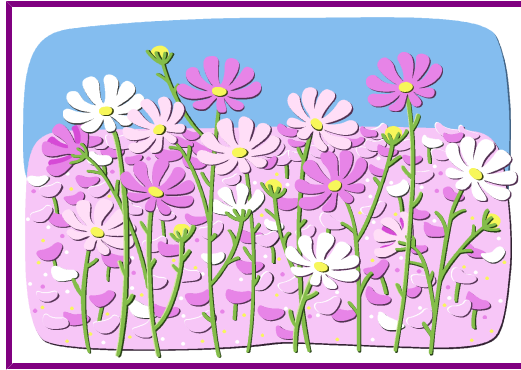


めぐみイエス・キリスト教会

2018年9月30日(日)第五主日礼拝
週報「通算第425号」



2018年標題聖句

使徒の働き27章22節～26節

《「しかし、今、お勧めします。元気を出しなさい。あなたがたのうち、命を失う者はひとりもありません。失われるのは船だけです。昨夜、私の主で、私の仕えている神の御使いが、私の前に立って、こう言いました。『恐れてはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの前に立ちます。そして、神はあなたと同船している人々をみな、あなたにお与えになったのです。』

ですから、皆さん。元気を出しなさい。すべて私に告げられたとおりになると、私は神によって信じています。私たちは必ず、どこかの島に打ち上げられます。』》

第一礼拝	毎週日曜日	午前10時～11時
第二礼拝	毎週日曜日	午後6時～6時45分
聖書研究・祈祷会	毎週水曜日	午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2018年9月30日(第五主日礼拝)

第一礼拝 午前10時～11時

司会 鈴木竜実牧師 奏楽 佐野みゆきさん

第二礼拝 午後6時～7時

司会・奏楽 鈴木竜実牧師

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌343「罪に満てる世界」 p. 546

【交読文】 No.16 詩篇第42篇 p. 891

【賛美Ⅱ】 新聖歌325「歌いつつ歩まん」 p. 515

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.2 「あなたと共にいつまでも」

【聖書朗読】 ヨハネの福音書16章1節～3節(新約p. 194)

【祈 禱】

【説 教】 《父をも私をも知らない者たち》

【聖 餐 式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝禱後奏】

※本日の聖書箇所(ヨハネの福音書16章1節～3節)

16:1 「これらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがつまりくことのないためです。

16:2 人々はあなたがたを会堂から追放するでしょう。事実、あなたがたを殺す者がみな、そうすることで自分は神に奉仕しているのだと思う時が来ます。

16:3 彼らがこういうことを行なうのは、父をも私をも知らないからです。」

●ポイント1 「つまずくことのないためです」とは？

※マルコの福音書14章26節～31節「つまずきとペテロへの預言」(新約p.89)

14:26 そして、賛美の歌を歌ってから、皆でオリーブ山へ出かけて行った。

14:27 イエスは、弟子たちに言われた。「あなたがたは皆、つまずきます。『私が羊飼いを打つ。すると、羊は散り散りになる。』と書いてありますから。

14:28 しかし私は、よみがえってから、あなたがたより先に、ガリラヤへ行きます。」

14:29 すると、ペテロがイエスに言った。「たとい全部の者がつまずいても、私はつまずきません。」

14:30 イエスは彼に言われた。「まことに、あなたに告げます。あなたは、きょう、今夜、鶏が二度鳴く前に、私を知らないと言います。」

14:31 ペテロは力を込めて言い張った。「たとい、ご一緒に死ななければならぬとしても、私は、あなたを知らないなどとは決して申しません。」

皆の者もそう言った。

●ポイント2 「あなたがたを殺す者が自分は神に奉仕していると思う」とは？

※使徒の働き8章1節～4節「サウロによる教会への迫害」(新約p.222上段)

8:1 サウロは、ステパノを殺すことに賛成していた。その日、エルサレムの教会に対する激しい迫害が起こり、使徒たち以外の者はみな、ユダヤとサマリヤの諸地方に散らされた。

8:2 敬虔な人たちはステパノを葬り、彼のために非常に悲しんだ。

8:3 サウロは教会を荒らし、家々にはいって、男も女も引きずり出し、次々に牢に入れた。

8:4 他方、散らされた人たちは、み言葉を宣べながら、巡り歩いた。

※使徒の働き9章1節～8節「ダマスコ途上の道程において」(新約p.224上段)

●ポイント3 「弟子たちの、そして私たちの使命」とは？

※ローマ人への手紙10章9節～17節「使徒パウロの勧め」(新約p.280上段)

※マルコの福音書16章15節「主イエス様のご命令とは？」(新約p.95上段)

16:15 それから、イエスは彼らにこう言われた。「全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい。」

◎先週のメッセージの概要【真理の御霊が来る時】

《イエス様が「真理の御霊(聖霊)」について三回目の啓示をされました。この三回に及ぶ啓示から、御霊(聖霊)は、共に住み共にいて下さる、すべてのことを教えて下さる、イエス様が語られたことを思い起こさせて下さり、イエス様について証しされると言うことが分かります。そしてそのことを十一使徒を通して行なわれることを預言されています。このことは、イエス様が、最初に使徒たちをユダヤの町や村に派遣された時にも預言されました。

「私が、あなたがたを遣わすのは、狼の中に羊を送り出すようなものです。ですから、蛇のようにさとく、鳩のように素直でありなさい。人々には用心しなさい。彼らはあなたがたを議会に引き渡し、会堂でむち打ちますから。また、あなたがたは、私のゆえに、総督たちや王たちの前に連れて行かれます。それは、彼らと異邦人たちに証しをする為です。人々があなたがたを引き渡した時、どのように話そうか、何を話そうかと心配するには及びません。というのは、話すのはあなたがたではなく、あなたがたの父の御霊だからです。」

このことが最初に成就するのは、ペテロとヨハネが捕らえられた時です。

イエス様がオリーブ山にて、昇天される前に、「聖霊があなたがたの上に臨まれる時、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、私の証人となります。」と言われました。

証人とは「証しをする人」のことですが、何を証しするのでしょうか。それはイエス様こそが聖書に預言された救い主であり、神の御子であることをです。十字架につけられて殺されましたが、三日目によみがえられたことをです。

私たちに使命が与えられています。それは「人間は皆、一度死ぬことと死後裁きがあること」を伝えることなのです。そしてそれだけでなく、救いの道が用意されていることを。父なる神様の命令と願いとは、「主イエスを信じ、悔い改めて永遠の命を受けること」なのです。なぜなら、「永遠の命」の反対側には、「永遠の滅び」すなわち「第二の死」があるからです。「一度生まれた者は二度死ぬ。しかし二度生まれた者は一度しか死なない」のです。》

◎お知らせ

1. 次回の礼拝は、10月7日(日)です。通常通り、第一礼拝は午前10時から、そして第二礼拝は午後6時から行ないます。
2. 次回の聖書研究・祈祷会は、10月3日(水)午後6時15分です。